

シンポジウム

# 歴史教育の未来を拓くV

—コロナ下の「新常態」とアクティブラーニング—

2021年  
3月20日(土・祝)  
12:30～17:30  
オンライン開催(日本大学文理学部)

## プログラム

趣旨説明：小浜正子(日本大文理学部)

### 1. 入試—形式と内容を鍛える

桃木至朗(大阪大学)

「これからの入試の話をしよう；手間をかけずに  
良問を作って採点できる『コロンブスの卵』を探して」

津野田興一(日比谷高校)

「第1回共通テスト(世界史)から見えてくるもの」

コメント：須江隆(日本大学生物資源科学部)

### 2. オンライン授業とアクティブラーニング

徳原拓哉(鶴見高校)・松木美加(横浜翠嵐高校)

「これからの授業の話をしよう：“新常態”における  
単元構成・授業・評価—高校現場から」

浜田晋介(日本大学文理学部)

「オンラインでの実技系授業の  
課題と問題点—大学現場から」

コメント：北村厚(神戸学院大学)

### 3. コロナ禍とジェンダー

長志珠絵(神戸大学)

「<感染症の時代>をジェンダー射程で  
「読む」：授業ネタを広げる試みとして」

コメント：川島啓一(同志社高校)

### 4. 総合討論

指定討論者：西村嘉高(青山学院高等部)

古川隆久(日本大学文理学部)

☆詳細はシンポジウムHPをご覧ください。

<http://chs-jinbun21symp.chips.jp/>

☆ご参加の方は3月14日までに下にお申込下さい。

<https://onl.tw/dTvx43>

主催

日本大学文理学部人文科学研究所総合研究  
「20世紀の歴史における他者認識と自己認識の諸相」  
(代表：日本大学文理学部・粕谷元)

共催

日本大学史学会・高大連携歴史教育研究会



参加申込み



シンポHP